

目次

序	
目次・例言	
シナノから科野国へ	1
千曲川水系の後期弥生文化とその終焉	7
後沢遺跡14号住居址出土土器	
後沢遺跡24号住居址出土土器	
四ッ屋遺跡30号住居址出土土器	
聖川堤防上遺跡6号住居址出土土器	
安源寺遺跡土坑出土土器・1号住居址出土土製品	
御屋敷遺跡Y4号住居址出土土器	
灰塚遺跡H1号住居址出土土器	
牟礼バイパスA遺跡2号住居址出土土器	
下伊那における地域性とその終結	24
酒屋前遺跡7号住居址出土土器	
恒川遺跡B10号住居址出土土器	
恒川遺跡A5号住居址出土土器	
上の金谷遺跡2号住居址出土土器	
恒川遺跡B4号住居址出土土器	
恒川遺跡溝15出土土器	
小池遺跡6号住居址出土遺跡	
松本盆地の弥生時代後期から古墳時代へ	35
諏訪地方の弥生時代後期の様相とその終焉	37
橋原遺跡59号住居址・出土土器	
下蟹河原遺跡出土土器	
青銅器などの祭祀	45
長野県内発見の青銅器	
佐久市社宮寺遺跡出土遺物	
生仁遺跡	
弥生時代の墓制	51
周防畑B遺跡B-2円形周溝墓	
聖川堤防上遺跡1号方形周溝墓・壺棺	
滝沢井尻遺跡方形周溝墓・伊那谷の鉄器・石器	
古墳の出現	61
下小平遺跡HM2号方形周溝墓	
森將軍塚古墳	
川柳將軍塚古墳	
弘法山古墳	
中山36号古墳	
兼清塚古墳	
玉造りのムラ	77
小島境遺跡	
社軍神遺跡	
後沖遺跡	
展示品関係遺跡概説	82
参考文献	88
出品目録	88

例言

1 本書は第5回企画展「シナノから科野国へ」の解説用に作成したものであるが、資料化への意味を含めている。

2 各地域の様相を笹沢浩・神村透・神沢昌二郎・宮坂光昭各先生、総括を森嶋稔先生に執筆いただいた。論文中の図版の挿入などは、展示品をもとに当館が行った。

3 図版の作成にあたっては、既刊調査報告書をもとにしているが、一部組替え・変更をしている。

4 実測図中整形等の説明は、明確な部位について、外面を左に、内面を右に表記した。

5 遺物写真は、全体的に縮小したが、実測図および下段に記した法量を参考にされた。

6 展示品・写真等の貸与者およびご指導いただいた方々には失礼であるが、冊子末に記した。

7 本書における責任は、すべて長野市立博物館にある。

第5回企画展

ミシナノから科野国へ、開催にあたって

長野市立博物館では、開館以来3年目の年を迎え多くの市民の皆さんから親しまれる博物館として御来館をいただき、開館の目的でもある市民文化の創造への新しい道を歩み続けていくところであります。

今回、58年度第一回目の企画展は、農耕民族として日本人が第一歩を踏み出した弥生時代から、やがてムラが生まれ国となり、さらに日本中の大半が一つの勢力の中にまとめられていく古墳時代への様子を、この地方を中心にして見ていただくため開催いたしました。常設展示においても、この状況は一部展示してはおりますが、今回は、それをさらに深く理解していただくため「ミシナノから科野国へ」と題して内容を広げたものです。

この開催にあたって幸なことは、この地方が弥生時代後期の代表的な遺跡である「箱清水遺跡」をもち、これが明治時代から多くの研究者たちから注目され、検討されて来たことに加え、近年、古墳時代初頭に築造された森将軍塚古墳の発掘が進み、新しい資料が多く報告されたことでした。周囲を急峻な山に囲まれたこの地方独特な地形の中で、新しい文化が人間の生活を変え、さらに新しい文化を育てていく様子が比較的整理した形でとらえることができました。

この企画展開催に当っては、できる限り多くの資料を一堂に集め、特に県内に広く散在している貴重な資料を展示すべく各方面にご協力をお願いしましたところ、長野県教育委員会ははじめ、関係市町村教育委員会や博物館、さらに、長い間大切に資料を保存されてこられた皆様から、絶大な御理解御協力を賜りました。中には公開することが初めての資料もあり、深く感銘しているところです。ここに、心からお礼申し上げます。

企画展でのもう一つの目的は、より分かり易くかつ効果的に会場を設定するため、幾つかの工夫をし、試験的に設営しております。特に、企画展での会場づくりは、当館学芸員の手づくりを原則として、展示法の実験も兼ねております。その点ご理解賜わり、御意見・御指摘いただければ有難いと思います。

最後に、本図録作製に当たり、玉稿をお寄せいただいた各位に深謝申し上げます。

昭和58年7月17日

長野市立博物館長
掛川 一夫